

平成29年度第2回富士見市いじめのない学校づくり委員会 会議録要旨

【日時】平成29年10月16日（月）14:00～16:30

【開催場所】富士見市教育委員会会議室

【出欠状況】

小林	大熊	塚田	発田	長堀
○	○	○	○	○

【事務局】

学校教育課長 教育相談室長 学校教育課副課長 指導主事2名

【次第】

- 1 開 会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 報告事項
 - ①平成28年度富士見市立学校におけるいじめ等の状況について
(文部科学省調査より)
 - ②平成29年度1学期富士見市立学校におけるいじめ等の状況について
(第1回生徒指導調査より)
 - (2) 富士見市いじめ防止基本方針について
- 5 事務連絡
 - ・「富士見市いじめのない学校づくり子ども会議」の開催について
平成29年11月14日（火）10:00～12:30（受付 9:40）
針ヶ谷コミュニティーセンター 3F・展示ギャラリー
 - ・第3回富士見市いじめのない学校づくり委員会
平成30年 2月 5日（月）14:00 富士見市教育委員会会議室
- 6 閉 会（副委員長）

【議 事】

(1) 報告事項

①平成28年度富士見市立学校におけるいじめ等の状況について

(文部科学省調査より)

②平成29年度1学期富士見市立学校におけるいじめ等の状況について

(第1回生徒指導調査より)

【委 員】 不登校について、小学校から中学校に進学した際にどのくらいの児童が継続しているのか、新たに増えたのは何人いるのか等、教育相談室と情報を共有してほしい。

【委 員】 不登校は、何が原因で、どこで増えたのか、そして、どのようにアプローチすることがよいのか研修する機会を設けてほしい。

【委 員】 他市町村では、外国籍の児童生徒が不登校傾向となるケースが多いようだ。

【委 員】 埼玉県でのいじめの件数が多いのは、小学2年生。東京都は小学4年生。

【委 員】 学年が進むにつれ、無欠席の児童生徒も増えるが、不登校になる子も増えてくる。

【委 員】 担任の先生の力量と不登校の人数が関係していると言える。

【委 員】 不登校の人数をみるのではなく、学級、学年、学校等の集団の中で、合計何日の欠席があるのかを月ごとにまとめ、評価していくとよい。

【委 員】 3日以上欠席者を月ごとに報告しているのは、教員が早い段階で声をかけたり、相談にのったりすることができるからである。子どもは、先生が真剣に自分のことを考えてくれているか、本気なのかをみている。登校できた時に、温かい言葉を一言かけてあげるだけで、不登校の15%ほどは防ぐことができる。

(2) 富士見市いじめ防止基本方針について

【事務局】 このたび、国の「いじめの防止等のための基本的な方針」の改定を踏まえ、埼玉県では平成29年7月「埼玉県いじめの防止等のための基本的な方針」を改定した。それに伴い、本市でも、引き続きいじめの防止のための対策を総合的かつ効果的に推進していくため「富士見市いじめ防止基本方針」の改定をしたい。委員さんのご意見を伺いたい。

①いじめの防止等の取組「学校・保護者・地域との連携の推進」について

【委 員】 幼稚園や保育所との連携を図り、保護者を育てていくことも大切である。

【委 員】 就学時に、子どもとの関わり方やコミュニケーションのとり方等、保護者のスキルを向上させる話や有益な情報等を伝えていくことも必要である。

【委 員】 保護者がわが子の話をしっかりと聴ける、地域の人がアドバイザーになれる環境を作ってもらいたい。

②いじめの防止等の取組「子どもと向き合う時間の確保」について

【委員】チーム学校として、担任以外の先生にも相談できるような相談体制づくりを進めてほしい。

【委員】小学2年生の保護者が、新1年生の親に、子どもをもつ親としてのノウハウを伝授する、保護者同士で支え合う体制づくり（学校ナビ）を進めてはどうか。

③いじめの解決に向けた対処について

【委員】加害児童生徒に対する成長の視点から、加害児童生徒が抱える問題を解決するための支援もしっかりと行ってもらいたい。

【委員】傍観者への指導も大切である。